

1989~2019
平成
Heisei

2019~
令和
Reiwa

1989 消費税導入
1991 湾岸戦争
1995 阪神・淡路大震災

2003 イラク戦争
2003 個人情報保護法公布
2008 リーマンショック
2011 東日本大震災

2021 ● 太政官正院に政表課が置かれてから150年を迎える

2020 ● 「公的統計の整備に関する基本的な計画の変更について」閣議決定
第III期基本計画を一部変更
● 第21回国勢調査実施

2019 ● 経済構造実態調査開始
● 「全国消費実態調査」を全面的に見直し、「全国家計構造調査」として実施

2018 ● 「公的統計の整備に関する基本的な計画」(第III期基本計画)閣議決定
● 「統計法及び独立行政法人統計センター法の一部を改正する法律」公布

2018 ● 政府統計の総合窓口(e-Stat)リニューアル
● 統計ダッシュボード提供開始

2017 ● 「統計法及び独立行政法人統計センター法の一部を改正する法律」公布

2015 ● 独立行政法人統計センターが特定独立行政法人から行政執行法人となる
● 第20回国勢調査実施(全国規模での初めてのオンライン調査)
● 総務省に統計委員会を移管

2015 ● 「公的統計の整備に関する基本的な計画」(第II期基本計画)閣議決定
● データサイエンス・オンライン講座開講

2014 ● 「公的統計の整備に関する基本的な計画」(第I期基本計画)を閣議決定

2013 ● 小売物価統計調査(構造編)開始(全国物価統計調査は平成19年調査を最後に中止)

2012 ● 経済センサスー活動調査開始

2010 ● 第19回国勢調査実施

2009 ● 経済センサスー基礎調査開始
● 匿名データの提供・オーダーメイド集計サービスを開始

2009 ● 「公的統計の整備に関する基本的な計画」(第I期基本計画)を閣議決定

2008 ● リーマンショック
● サービス産業動向調査開始
● 政府統計の総合窓口(e-Stat)開設
● 政府統計共同利用システムの運用開始

2008 ● 統計委員会を内閣府に設置

2007 ● 統計法を全部改正し、新「統計法」を公布(平成21年4月全面施行)

2005 ● 第18回国勢調査実施

2005 ● 統計基準部を政策統括官(統計基準担当)に改組

2004 ● 事業所・企業統計調査、商業統計調査及びサービス業基本調査を同時実施

2003 ● 小売物価統計調査システムの運用開始(全都道府県)
● 統計センターが総務省所管の独立行政法人となる
● 統計センサスが総務省所管の独立行政法人となる

2003 ● 各府省共同利用型事業所・企業データベースシステムの運用開始

2002 ● 統計研修所が総務省の文教研修施設となる

2002 ● 各府省共同利用型事業所・企業データベースシステムの運用開始

2002 ● 就業希望状況調査実施

2002 ● 個人企業経済調査と個人企業営業状況調査を統合して実施

2002 ● 家計調査に単身世帯収支調査と貯蓄動向調査を統合して実施

2002 ● 労働力調査に労働力調査特別調査を統合して実施

2001 ● 家計消費状況調査開始

2001 ● 総合統計データベース(e-Stat)の運用開始
● 小売物価統計調査システムの先行運用開始(東京都)

2001 ● 中央省庁等再編に伴い、総務省統計局・統計センターとなる

2000 ● 第17回国勢調査実施(OCR仕様の調査票を導入)

1998 ● 住宅調査と土地世帯調査を統合し「住宅・土地統計調査」として実施

1998 ● 事業所・企業名簿整備情報データベース開設

1996 ● 事業所統計調査を「事業所・企業統計調査」と改称して実施

1995 ● 第16回国勢調査実施

1995 ● 単身世帯収支調査開始

1991 ● センサス・マッピング・システム導入開始

1990 ● 統計情報データベース・システム(SISMA)の運用開始

1989 ● サービス業基本調査開始



2020 ● 令和2年に国勢調査は、大正9年第1回調査の実施から、100年の節目を迎える

2018 ● 統計データ活用センター(和歌山市)を開設

2015 ● 「みらいちゃん」誕生
オンライン調査の全国展開に際し、オンラインによる回答を促進するための新たなイメージキャラクターとして平成27年国勢調査時に誕生

2014 ● 統計研修所が国分寺市へ移転

2011 ● 政府統計の統一ロゴタイプを決定

2009 ● 総務省統計局
統計局イメージデザインを決定

2008 ● 政府統計の総合窓口e-Statの本運用開始

2001 ● 東京タワービルに「とうけいプラザ」を開設(平成22年2月末閉館)

1991 ● 統計資料館開設

1990 ● 「センサスくん」誕生
国勢調査が赤ちゃんからお年寄りまで一人の漏れもなく調査しなければならぬことから、未来の時代を担う赤ちゃんをイメージキャラクターとして平成2年国勢調査時に誕生